

## 令和3年度 指定管理者制度導入施設の管理運営状況について

自然環境課

### 1 施設の概要等

施設名	広島県立中央森林公園（公園センター等地區）		
所在地	三原市本郷町上北方 1315		
設置目的	すぐれた自然環境にある森林を保護するとともに、その利用の増進を図り、もって県民の保健、休養及び福祉に資する。		
施設・設備	三景園、駐車場、バーベキュー広場、運動広場、サイクリングロード、研修室等		
指定管理者	4期目	H31.4.1～R6.3.31	(一財)中央森林公園協会
	3期目	H26.4.1～H31.3.31	(一財)中央森林公園協会
	2期目	H21.4.1～H26.3.31	(一財)中央森林公園協会
	1期目	H18.4.1～H21.3.31	(財)中央森林公園協会

### 2 施設利用状況

利用状況	年度		目標値 [事業計画]	入場者数	対前年度増減	対目標値増減 (達成率)
	4期	R3		267,000人	214,600人	△14,300人
R2			267,000人	228,900人	△28,800人	△38,100人 (85.7%)
R1			267,000人	257,700人	△5,820人	△9,300人 (96.5%)
3期平均 H26～H30		250,000人	263,520人	25,260人	13,520人 (105.4%)	
2期平均 H21～H25		255,800人	238,260人	△7,807人	△17,540人 (93.1%)	
1期平均 H18～H20		—	246,067人	26,567人	—	
H17 (導入前)		—	219,500人	—	—	
増減理由	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、前年度と比べて県からの休業要請期間が長かった（R3：149日、R2：33日）ことなどから、三景園、バーベキュー、サイクリングの利用者数が前年度より減少し、目標を達成することができなかった。					

### 3 利用者ニーズの把握と対応

調査実施内容	【実施方法】	【対象・人数】
	アンケートの実施	ピクニック広場 31件、三景園 34件、イベント 94件
	【主な意見】	【その対応状況】
	飛行機が見える場所への行き方がわかりにくい。	飛行機ビューポイントのパンフレット及びピクニック広場への写真付の道案内の作成・HP掲載や、園路上に「飛行機」の文字の掲示を行った。

### 4 県の業務点検等の状況

項目		実績	備考
報告書	年度	○	事業報告書
	月報	○	月次業務実績報告書
	日報（必要随時）	—	
管理運営会議等（随時）	<b>【特記事項等】</b> 広島空港周辺施設との連携 <b>【指定管理者の意見】</b> 引き続き、空港周辺施設と連携した取組や新たな連携策の検討を行い、施設の利用促進を図る。		
現地調査（12月）	<b>【県の対応】</b> 指定管理者と連携しながら、県としても空港周辺施設との連携に協力する。		

## 5 県委託料の状況

(単位：千円)

	年度		金額	対前年度増減		年度		金額	対前年度増減
県委託料 (決算額)	4期	R3	68,287	10,307	料金 収入 (決算額)	4期	R3	35,906	△4,833
		R2	57,980	4,722			R2	40,739	△5,259
		R1	53,258	2,343			R1	45,998	1,640
	3期平均 H26～H30		50,915	1,415		3期平均 H26～H30		44,358	5,035
	2期平均 H21～H25		49,500	4,880		2期平均 H21～H25		39,323	△3,013
	1期平均 H18～H20		44,620	△22,750		1期平均 H18～H20		42,336	12,749
	H17 (導入前)		67,370	—		H17 (導入前)		29,587	—

## 6 管理経費の状況

(単位：千円)

項目		R3 決算額	R2 決算額	前年度差	主な増減理由等
収入	県委託料	68,287	57,980	10,307	新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う委託料の増
	料金収入(※1)	35,906	40,739	△4,833	新型コロナウイルス感染症の影響による利用者の減
	その他収入	40,374	42,940	△2,566	新型コロナウイルス感染症の影響による食堂など販売収入の減
	計(A)	144,567	141,659	2,908	
支出	人件費	67,672	64,875	2,797	体制の見直しに伴う給与等の増
	光熱水費	7,914	7,457	457	
	設備等保守点検費	12,679	11,859	820	委託業務(草刈)の回数増
	清掃・警備費等				
	施設維持修繕費	11,960	13,071	△1,111	修繕箇所が減
	事務局費	3,572	3,564	8	
	その他	34,242	39,841	△5,599	新型コロナウイルス感染症の影響による販売収入の減少に伴う販売原価の減
	計(B)	138,039	140,667	△2,628	
収支①(A-B)		6,528	992	5,536	
自主事業 (※2)	収入(C)	—	—	—	
	支出(D)	—	—	—	
	収支②(C-D)	—	—	—	
合計収支(①+②)		6,528	992	5,536	

※1 利用料金制：公の施設の使用料について、指定管理者が直接使用料等を収入することができる制度。指定管理者の自主的な経営努力を発揮しやすくする効果が期待され、地方公共団体及び指定管理者の会計事務の効率化が図られる。

※2 自主事業：指定管理者が自らの責任で、更なる施設サービスの向上のために提案・実施する事業

## 7 管理運営状況

項目		指定管理者 (事業計画, 主な取組, 新たな取組など)	県の評価
施設の効用発揮	○施設の設置目的に沿った業務実績	新型コロナウイルス感染防止対策を徹底したうえで、三景園、バーベキュー広場及びサイクリング等の利用に加え、利用者ニーズ等を踏まえた各種イベントを開催し、施設の利用促進を図った。	新型コロナウイルス感染防止対策を行いながら、利用者ニーズを踏まえ、各種イベントを開催するなど、適切に業務運営を行っている。
	○業務の実施による、県民サービスの向上	老朽化したレンタサイクルの更新や電動アシスト自転車の導入を行うなど、利用環境の向上に取り組んだ。	利用環境の改善に取り組み、県民サービスの向上に努めている。
	○業務の実施による、施設の利用促進	三景園もみじ祭りライトアップ実施日の拡充やレンタサイクル利用者への近隣施設サービス券の配布などを行い、利用促進に努めた。	新たなイベントの企画・実施に積極的に取り組み、更なる利用者の確保に取り組んでいる。
	○施設の維持管理	展望広場に至る園路周辺の樹木伐採や、園内道路標示・白線の補修などを行い、安全の確保と景観の改善を図った。	適切に維持管理を行い、安全で快適な利用環境の提供に努めている。
管理の人的物的基礎	○組織体制の見直し	臨時職員2名を正規職員に採用し、総務課と営業課に配置した。担当者と総括の2名体制とすることで、チェック機能の確保と人材育成を図った。	職員配置の見直しを行い、適正な管理運営を行うための体制確保に努めている。
	○効率的な業務運営	腐食した三景園竹垣を直営で更新し、費用縮減と景観の改善を図った。	効率的な業務運営に取り組んでいる。
	○収支の適正	利用者数の減少により大幅な減収となったが、経費削減に努め、収支は黒字を計上した。	効率的な業務運営を行うことにより、収支の適正化に努めている。
総括		新型コロナウイルス感染症の影響による休業やイベントの中止・規模縮小などにより、利用者数の目標は達成できなかった。 今後、新型コロナウイルス感染防止対策を徹底しながら、更なる利用促進に取り組む、引き続き、収支の黒字化を図る。	新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえながら臨機応変に対応するとともに、近年利用者が減少傾向にあることから、利用者ニーズの調査・分析を行い、より効果的なサービスの提供に取り組む必要がある。

## 8 今後の方向性（課題と対応）

項目	指定管理者	県
短期的な対応 (令和4年度)	新型コロナウイルス感染防止対策の徹底を継続し、利用者ニーズを踏まえ、引き続き、公園全体の利用促進のため、集客力の強化を図る。	新型コロナウイルス感染防止対策の実施を支援するとともに、安定的な利用者確保のため、より効果的なサービスの提供ができるよう必要な支援を行う。
中期的な対応	利用者増となるよう、空港周辺の周遊性も含めた、三景園や公園センターの魅力向上とともに、施設の更なる利用環境の改善を図る。	施設ごとに利用者ニーズを把握し、空港周辺施設を含めた、利用促進策について、必要な支援を行う。